

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2002-234258 (P2002-234258A)

【公開日】平成 14 年 8 月 20 日 (2002.8.20)

【出願番号】特願 2001-36093 (P2001-36093)

【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 M 5/26

C 0 9 B 45/00

G 1 1 B 7/24

【F I】

B 4 1 M 5/26 Y

C 0 9 B 45/00

G 1 1 B 7/24 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 20 日 (2004.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

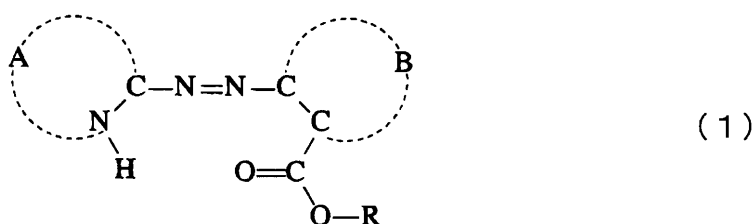
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

基板上に記録層を設けた光記録媒体において、記録層中に、下記一般式 (1) で示されるアゾ化合物と、金属、金属酸化物又はその塩からなるアゾ金属キレート化合物の少なくとも一種を含有することを特徴とする光記録媒体。

【化 1】



〔式中、A はそれが結合している炭素原子及び（活性水素を有している）窒素原子と一緒になって複素環を形成する残基を表し、B はそれが結合している 2 つ の炭素原子と一緒になって芳香族環を形成する残基を表し、R はアルキルシリル基を含有する置換又は未置換のアルキル基を表す。〕

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

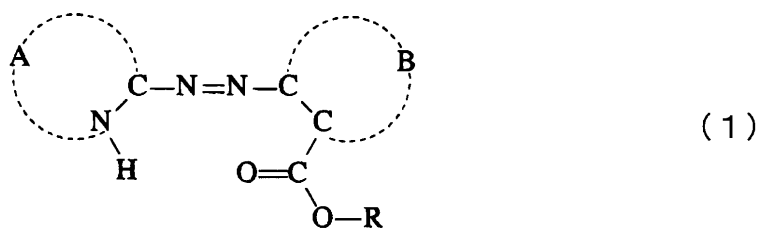
【課題を解決するための手段】

本発明者等が検討した結果、特定構造の色素を主成分とする記録層を用いれば、発振波長 670 nm 以下の半導体レーザを用いる次世代大容量光ディスクシステムに適用可能であることを見出し本発明に至った。

即ち、上記課題は、次の１）～６）の発明によって解決される。

１） 基板上に記録層を設けた光記録媒体において、記録層中に、下記一般式（１）で示されるアゾ化合物と、金属、金属酸化物又はその塩からなるアゾ金属キレート化合物の少なくとも一種を含むことを特徴とする光記録媒体。

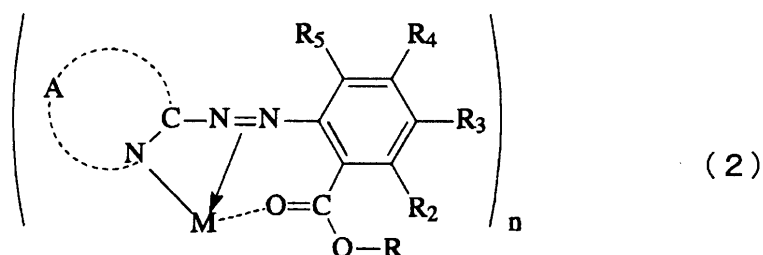
【化４】



〔式中、Aはそれが結合している炭素原子及び（活性水素を有している）窒素原子と一緒にって複素環を形成する残基を表し、Bはそれが結合している２つの炭素原子と一緒にって芳香族環を形成する残基を表し、Rはアルキルシリル基を含有する置換又は未置換のアルキル基を表す。〕

２） 前記アゾ金属キレート化合物が、下記一般式（２）で示される化合物であることを特徴とする１）記載の光記録媒体。

【化５】



（式中、Aはそれが結合している炭素原子及び窒素原子と一緒にってピロール、イミダゾール、ピラゾール、トリアゾール、テトラゾール、インドール、ベンゾイミダゾールからなる群より選択された複素環を形成する残基を表し、Mは金属又は金属酸化物を表し、Rはアルキルシリル基を含有する置換又は未置換のアルキル基を表し、 $R_2 \sim R_5$ はそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、ニトロ基、シアノ基、水酸基、カルボキシ基、アミノ基、置換又は未置換のアルキル基、置換又は未置換のアリール基、置換又は未置換の複素環残基、置換又は未置換のアルキルカルボニル基、置換又は未置換のアリールカルボニル基、置換又は未置換のアルキルオキシカルボニル基、置換又は未置換のアリールオキシカルボニル基、置換又は未置換のアルキルスルホニル基、置換又は未置換のアリールスルホニル基、置換又は未置換のアルキルチオオキシ基、置換又は未置換のアリールチオオキシ基、置換又は未置換のアルキルオキシ基、置換又は未置換のアリールオキシ基、置換又は未置換のアルキルアミノ基、置換又は未置換のアリールアミノ基、置換又は未置換のアルキルカルボニルアミノ基、置換又は未置換のアリールカルボニルアミノ基、置換又は未置換のアルキルカルバモイル基、置換又は未置換のアリールカルバモイル基、置換又は未置換のアルケニル基を表し、 n は２又は３を表す。また、 R_2 と R_3 、 R_3 と R_4 、 R_4 と R_5 はそれぞれ連結して環を形成していてもよい。）

３） 前記金属が、２価又は３価の金属であることを特徴とする１）又は２）記載の光記録媒体。

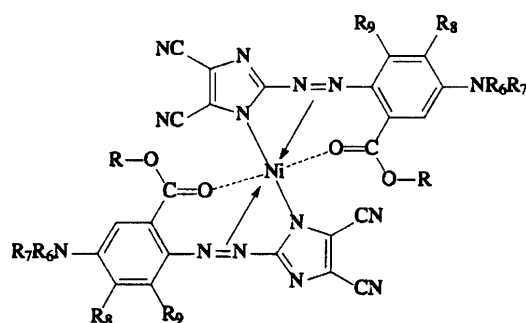
４） 前記２価又は３価の金属が、マンガン、コバルト、ニッケル、銅の何れかであることを特徴とする３）記載の光記録媒体。

５） 前記Aを含む複素環が、イミダゾール環であることを特徴とする１）～４）の何

れかに記載の光記録媒体。

6) 前記イミダゾール環を有する化合物が、下記一般式(3)で示される化合物であることを特徴とする5)記載の光記録媒体。

【化6】



(3)

(式中、Rはアルキルシリル基を含有する置換又は未置換のアルキル基を表し、R₆、R₇はそれぞれ独立に水素原子、シアノ基、置換又は未置換のアルキル基、置換又は未置換のアリール基を表し、R₈及びR₉はそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、ニトロ基、シアノ基、水酸基、カルボキシ基、アミノ基、置換又は未置換のアルキル基、置換又は未置換のアリール基、置換又は未置換の複素環残基、置換又は未置換のアルキルカルボニル基、置換又は未置換のアリールカルボニル基、置換又は未置換のアルキルオキシカルボニル基、置換又は未置換のアリールオキシカルボニル基、置換又は未置換のアルキルスルホニル基、置換又は未置換のアリールスルホニル基、置換又は未置換のアルキルチオオキシ基、置換又は未置換のアリールチオオキシ基、置換又は未置換のアルキルオキシ基、置換又は未置換のアリールオキシ基、置換又は未置換のアルキルアミノ基、置換又は未置換のアリールアミノ基、置換又は未置換のアルキルカルボニルアミノ基、置換又は未置換のアリールカルボニルアミノ基、置換又は未置換のアルキルカルバモイル基、置換又は未置換のアリールカルバモイル基、置換又は未置換のアルケニル基を表す。また、R₇とR₈、R₈とR₉はそれぞれ連結して環を形成していてもよい。)